

行政調査報告書「環境首都推進特別委員会」

平成 22 年 10 月 26 日（火）～28 日（木）

■広島県「広島都市圏パーク&ライド事業について」

広島県では、交通渋滞対策として、交通容量を拡大するハード事業と交通需要を調整するソフト面での施策を掲げ、パーク&ライド事業はその両方に含まれる事業として位置付けている。広島都市圏パーク&ライド推進協議会を設立し、現在までに、民間ショッピングセンターなどを利用したパーク&ライドの登録駅を 99 駅に拡大している。



現地視察したショッピングセンターでの登録者数は 75 人であり、第 2 期募集で 200 人登録を目指している。毎月の駐車場利用料金は 15,000 円だが、商品券を毎月 10,000 円分発行し、実質の料金は 5,000 円と利用しやすい料金設定をしている。

パーク&ライドの推進を図るためには、地理的条件や利用者へのメリットが必要であり、さらに企業との連携、民間の知恵と工夫も欠かせないと感じた。

■福岡県北九州市「城野地区低炭素先進モデル街区について」



北九州市では、平成 23 年度の事業着手に向けて、城野地区低炭素先進モデル街区（総面積 33ha）の計画が進められている。計画では、「ゼロ・カーボン街区の形成」をコンセプトとした先導的な低炭素型まちづくりを目指し、太陽光・太陽熱、地熱の利用、カーシェアリング、サイクルシェアリング、長期優良住宅の建設など、CO₂削減に向けた多くの施策を盛り込んでいる。事業費をどのように確保するか、また維持管理をどのようにしていくかなどの課題はあるが、夢のあるプロジェクトだと感じた。

エコタウンモデル街区は、小エリアでも十分効果的政策になると考えられ、これからの環境対策や低炭素社会の構築に向けて、本市にとっても参考になる部分があると感じた。

■山口県岩国市「先導的都市環境形成計画（岩国駅前地区）について」

岩国市では、地球環境に負荷をかけない都市づくりなどを掲げ、先導的都市環境形成計画を策定している。その主な柱は、市内の新幹線、鉄道、バスなどの多様な公共交通のネットワークの形成と機能強化、並びに岩国駅の建替えを中心とした駅周辺地区の整備である。事業化に向けては、多大な事業費と交通事業者との協議・調整が課題となっている。



今後の望ましい交通ネットワークのあり方としては、広域・地域・生活レベルの交通ネットワークがそれぞれ機能分担し、有機的に連携することが必要であると感じた。